



Level up your happiness



令和7年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和7年1月27日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 (TEL) 045-562-8111
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第3四半期の連結業績(令和6年4月1日~令和6年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和7年3月期第3四半期	52,570	△14.0	15,075	△25.8	33,144	△2.0	25,161	3.6
令和6年3月期第3四半期	61,136	23.7	20,316	△11.7	33,825	100.4	24,283	80.2

(注) 包括利益 令和7年3月期第3四半期 37,073百万円(23.0%) 令和6年3月期第3四半期 30,129百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
令和7年3月期第3四半期	79	67	74	37
令和6年3月期第3四半期	76	95	71	61

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
令和7年3月期第3四半期	238,377		195,702		81.7	616	96	
令和6年3月期	245,802		175,552		71.1	553	59	

(参考) 自己資本 令和7年3月期第3四半期 194,857百万円 令和6年3月期 174,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
令和6年3月期	-	0.00	-	54.00	54.00	
令和7年3月期	-	0.00	-			
令和7年3月期(予想)				48.00	48.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日~令和7年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	90,000	6.4	30,000	5.3	40,000	△12.6	30,000	△11.2	95	04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

令和7年3月期3Q	336,096,924株	令和6年3月期	336,096,924株
令和7年3月期3Q	20,261,043株	令和6年3月期	20,258,636株
令和7年3月期3Q	315,837,453株	令和6年3月期3Q	315,592,469株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、令和7年1月27日(月)にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかに回復することが期待されるものの、米国の今後の政策動向による影響、中国における景気の下振れリスク等、先行きに対する不確実性があります。

第3次中期経営計画の最終年度となる当期は、グループ経営方針として「グローバルIPの創造と展開」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。

当第3四半期はパッケージゲーム2タイトルを発売しました。スマートフォンゲームでは運営中のタイトルが安定して収益に貢献しました。

前年度は第3四半期までにパッケージ3タイトル、モバイル3タイトルの新作を発売しましたが、今年度は累計期間でパッケージ2本の新作の発売となり、既存タイトル中心の期間であったため、売上高、営業利益は前年度を下回りました。営業外収支は、市場環境も安定して推移する中、金融市場を注視しながら的確な運用を行ったことにより、第3四半期累計として過去最高となりました。

これらの結果、売上高525億70百万円(前年同四半期比14.0%減)、営業利益150億75百万円(同25.8%減)、経常利益331億44百万円(同2.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益251億61百万円(同3.6%増)となりました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 487億94百万円 セグメント利益 148億67百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、『三國志8 REMAKE』(Nintendo Switch、PS5、PS4、Windows(Steam)用)を10月に発売し、当四半期中の販売本数は20万本でした。スマートフォンタイトルでは、最新の戦略シミュレーションゲーム『キングダム 覇道』^(※1)(iOS、Android用)を発表しました。また、『信長の野望 覇道』では配信2周年を記念したキャンペーンを実施しました。

「ω-Force」ブランドでは、『真・三國無双 ORIGINS』(2025年1月17日発売)の体験版が130万ダウンロードを突破しました。

「Team NINJA」ブランドでは、前期末に発売した『Rise of the Ronin』が「PlayStation Partner Awards 2024 Japan Asia」で「SPECIAL AWARD」と「USERS' CHOICE AWARD」を受賞しました。

「ガスト」ブランドでは、『FAIRY TAIL 2』を12月に発売し、当月中の販売本数は12万本でした。

「ルビーパーティー」ブランドでは、ネオロマンス30周年を記念したイベント『ネオロマンス 30th Anniversary ~アンジェリーク&遙かなる時空の中で~』を1月に開催します。

「midas」ブランドでは、位置情報ゲーム『信長の野望 出陣』において、ご当地イベントとコラボしたゲーム内キャンペーン等を実施しました。

「AAAスタジオ」では、新規タイトルの開発に注力しています。

IP事業においては、当社がIPを許諾する『NINJA GAIDEN: Ragebound』^(※2)(Nintendo Switch、PS5、PS4、Xbox Series X|S、Xbox One、Windows(Steam)用)の発売を2025年夏に予定しています。『三国志・戦略版』(国内では『三國志 真戦』)は引き続き収益に寄与しました。

※1 配信元はバンダイナムコエンターテインメント社

※2 発売元はDotemu社、開発元はThe Game Kitchen社

アミューズメント事業 売上高 31億3百万円 セグメント利益 3億77百万円

アミューズメント施設は、既存店売上高が好調に推移しました。スロット・パチンコでは、液晶ソフト受託開発に取り組んでいます。

不動産事業 売上高 9億38百万円 セグメント利益 2億28百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、引き続き高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 2億27百万円 セグメント損失 3億97百万円

ベンチャーキャピタル事業において、ファンドの管理費用が発生しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して74億25百万円減少し2,383億77百万円となりました。これは主に、投資有価証券が361億75百万円、現金及び預金が151億41百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が492億89百万円、その他流動資産に含まれる未収入金が40億80百万円、売掛金及び契約資産が40億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して275億76百万円減少し426億74百万円となりました。これは主に、未払金が106億48百万円、短期借入金が90億円それぞれ増加した一方で、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が465億36百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して201億50百万円増加し1,957億2百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が113億98百万円、利益剰余金が81億5百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年4月30日に公表した令和7年3月期の通期の業績予想は、第4四半期の新作タイトルの販売動向、世界経済や金融環境の動向を踏まえ、当初予想からの変更はございません。今後、業績予想数値に修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,702	26,843
売掛金及び契約資産	15,041	11,027
有価証券	58,393	9,104
商品及び製品	50	168
仕掛品	104	16
原材料及び貯蔵品	100	195
その他	7,561	2,431
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	92,951	49,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,760	19,828
土地	14,624	14,615
建設仮勘定	366	381
その他（純額）	1,725	1,860
有形固定資産合計	36,477	36,686
無形固定資産		
その他	231	192
無形固定資産合計	231	192
投資その他の資産		
投資有価証券	106,590	142,765
繰延税金資産	933	94
退職給付に係る資産	4,466	4,980
その他	4,833	3,872
貸倒引当金	△681	-
投資その他の資産合計	116,141	151,712
固定資産合計	152,851	188,592
資産合計	245,802	238,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,046	1,160
短期借入金	-	9,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	46,536	-
未払金	7,459	18,107
未払法人税等	6,538	2,128
賞与引当金	1,730	996
役員賞与引当金	259	236
その他	5,358	4,754
流動負債合計	68,928	36,384
固定負債		
繰延税金負債	391	5,261
その他	930	1,028
固定負債合計	1,322	6,290
負債合計	70,250	42,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	27,428	27,428
利益剰余金	163,070	171,176
自己株式	△37,765	△37,769
株主資本合計	167,733	175,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,157	15,555
土地再評価差額金	△3,115	△3,114
為替換算調整勘定	4,792	5,382
退職給付に係る調整累計額	1,275	1,198
その他の包括利益累計額合計	7,110	19,022
新株予約権	707	844
純資産合計	175,552	195,702
負債純資産合計	245,802	238,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	61,136	52,570
売上原価	21,555	22,727
売上総利益	39,581	29,843
販売費及び一般管理費	19,265	14,767
営業利益	20,316	15,075
営業外収益		
受取利息	9,973	13,575
受取配当金	551	594
投資有価証券売却益	9,407	1,281
有価証券償還益	532	3,275
デリバティブ評価益	8,127	2,069
為替差益	561	1,633
その他	187	161
営業外収益合計	29,341	22,591
営業外費用		
投資有価証券評価損	87	447
投資有価証券売却損	8,962	0
有価証券償還損	5,404	3,017
デリバティブ評価損	658	754
その他	718	304
営業外費用合計	15,831	4,523
経常利益	33,825	33,144
特別損失		
減損損失	407	-
特別損失合計	407	-
税金等調整前四半期純利益	33,418	33,144
法人税、住民税及び事業税	9,008	7,732
法人税等調整額	126	249
法人税等合計	9,135	7,982
四半期純利益	24,283	25,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,283	25,161

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益	24,283	25,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,887	11,398
土地再評価差額金	-	0
為替換算調整勘定	946	589
退職給付に係る調整額	12	△76
その他の包括利益合計	5,846	11,911
四半期包括利益	30,129	37,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,129	37,073

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,320	2,910	899	61,129	7	61,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	73	0	2	75	236	312
計	57,393	2,910	902	61,205	243	61,449
セグメント利益又は損失(△)	20,077	485	102	20,665	△349	20,316

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,665
「その他」の区分の損失(△)	△349
四半期連結損益計算書の営業利益	20,316

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,520	3,103	938	52,563	7	52,570
セグメント間の内部売上高又は振替高	274	0	-	274	220	494
計	48,794	3,103	938	52,837	227	53,065
セグメント利益又は損失(△)	14,867	377	228	15,473	△397	15,075

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,473
「その他」の区分の損失(△)	△397
四半期連結損益計算書の営業利益	15,075

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	1,309 百万円	1,405 百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。